

## 令和3年度学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査の結果について

県教育委員会では、学校における体罰根絶に向けた取組の一環として、令和3年12月に「学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査」を実施した。  
なお、県内市町村においても、政令指定都市を除いて同様に体罰の実態把握調査が実施された。

### 1 県立学校における体罰調査の概要

#### (1) 調査の目的

- ア 県立学校における体罰の実態を把握し、具体的な事案に対しては適切な対応を講ずることで、児童・生徒が安全かつ安心して学校生活を送ることができる環境の整備に努める。
- イ 各学校において、教職員間の体罰に関する議論や認識を深め、体罰の根絶に向けた取組を更に推進する。

#### (2) 調査対象、調査内容、調査方法及び調査対象期間

##### ア 調査対象

- ① 県立高等学校 138 校、県立中等教育学校 2 校、県立特別支援学校 29 校のすべての児童・生徒及び保護者、教職員等(外部指導者を含む)を対象
- ② 調査対象人数は、児童・生徒が約 123,700 人、教職員等は約 15,900 人

##### イ 調査内容

- ① 児童・生徒については、令和3年度の学校生活の中で、自分自身が体罰を受けたり、他の児童・生徒が体罰を受けたことを知っている場合に回答
- ② 保護者については、県教育委員会に伝えたいことがある場合に回答
- ③ 教職員等については、自身及び他の教職員等の体罰の有無、また有の場合は具体的内容を回答

##### ウ 調査方法

- ① 児童・生徒は、学校名、課程、学年を原則として記入(無記名回答は可)し、保護者の記載と併せて、パソコン、スマートフォン等から専用のURL又は二次元コードを使い回答するか、学校で配付する回答用紙を県教育委員会に郵送
- ② 教職員等は、回答用紙に記名の上で校長に提出

##### エ 調査対象期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

### 2 市町村立学校における体罰調査の概要

#### (1) 市町村における体罰調査

政令3市を除く30市町村で県の実施要項を参考に、各市町村教育委員会が定めた方法で、体罰の実態把握調査を実施

#### (2) 調査対象及び調査対象期間

##### ア 調査対象

- ① 小学校 328 校、中学校 175 校、高等学校 1 校、特別支援学校 3 校のすべての児童・生徒及び保護者、教職員等を対象
- ② 調査対象人数は、児童・生徒は約 232,200 人、教職員等は約 17,900 人に実施
- ③ 調査内容は、令和3年度の学校生活全般における教職員等による体罰を回答

## イ 調査対象期間

令和3年4月1日から市町村ごとに定めた調査の回答記入日まで

## 3 令和3年度に神奈川県内で把握された体罰事案の状況

### (1) 体罰の発生状況

令和3年度に発生した体罰事案は、本調査によって把握された事案のほか、既に県教育委員会に報告され、対応している事案を加え、次のとおり。

- 令和3年度・体罰発生件数：9件（県立学校5件 + 市町村立学校4件）
- その内、本調査で把握された件数：2件（県立学校2件 + 市町村立学校0件）

### ア 県立学校

校種 場面	3年度				(参考)	
	高等学校	中等教育	特別支援	合計	2年度	元年度
授業中	3 (2)	0	1	4 (2)	5	4 (4)
部活動中	1	0	0	1	3 (2)	0
特別活動中 (部活動以外)	0	0	0	0	0	1 (1)
その他 (昼休み・放課後等)	0	0	0	0	1	0
合計	4 (2)	0	1	5 (2)	9 (2)	5 (5)

※ ( )数字は体罰調査で把握された件数(内数)

※ 過年度分は校種の合計値

### イ 市町村立学校

校種 場面	3年度				(参考)	
	小学校	中学校	高等学校 特別支援	合計	2年度	元年度
授業中	0	1	0	1	0	2
部活動中	0	2	0	2	1	0
特別活動中 (部活動以外)	0	1	0	1	0	0
その他 (昼休み・放課後等)	0	0	0	0	3	2
合計	0	4	0	4	4	4

※ 過年度分は校種の合計値

### ウ 総合計

場面	3年度	2年度	元年度
授業中	5 (2)	5	6 (4)
部活動中	3	4 (2)	0
特別活動中 (部活動以外)	1	0	1 (1)
その他 (昼休み・放課後等)	0	4	2
合計	9 (2)	13 (2)	9 (5)

※ ( )数字は体罰調査で把握された件数(内数)

## (2) 調査によって把握された体罰事案の概要

### ア 県立学校

NO	職	校種	内 容	負傷
1	非常勤講師	高校	授業中、私語をした生徒を指導した際、教科書の平面部分で、当該生徒の頭頂部を叩いた。	なし
2	教諭	高校	授業中、定期試験の点数が良くなかった生徒に対し、叱咤激励するつもりで、出席簿の平面部分で、当該生徒の頭部を叩いた。	なし

### イ 市町村立学校

本調査によって把握された体罰事案はなかった。

## (3) 体罰事案の発生状況の考察と評価

### ア 事案の発生件数

- ① 県立学校 : 前年度9件が5件に減少
- ② 市町村立学校 : 前年度と同じ4件
- ③ 総合計 : 前年度13件が9件に減少

### イ 場面別

- ① 県立学校 : 授業中における発生件数が前年度の5件から4件に、部活動中における発生件数が3件から1件に、昼休み・放課後等における発生件数が1件から0件に減少した。また、特別活動中における発生件数は前年度と同じ0件であった。
- ② 市町村立学校 : 授業中における発生件数が前年度の0件から1件に、部活動中における発生件数が1件から2件に、特別活動中における発生件数が0件から1件に増加した。一方、昼休み・放課後等における発生件数は3件から0件に減少した。

### ウ 考察と評価

令和3年度は、体罰の県内総合計件数が前年度の13件から9件に減少したが、体罰の根絶に向けて、今後も継続的な取組が必要である。

また、本調査によって把握された体罰事案は前年度と同じ2件であった。引き続き、体罰が発生した際の学校から教育委員会への速やかな報告を徹底する必要がある。

## 4 今後の対応

### (1) 体罰の未然防止のための環境整備

- ア 複数の教職員間で相互チェックが働く体制の整備
- イ 管理職による校内の定期的な巡視
- ウ 児童・生徒へ校内における相談窓口の周知

### (2) 体罰防止リーフレットの活用の促進

「体罰防止ガイドライン」のエッセンスを抜粋し、過去の事例を掲載した体罰防止リーフレットを各所属における研修で活用

### (3) 人権教育研修を実施

児童・生徒の人権を尊重した指導及び教職員の指導力の向上のため、教職員の人権感覚を高める研修を実施（管理職以外の教職員からも募集）